

<ご挨拶>

山形県を代表する^{そうそう}錚々たる方々が歴任されてきた県GH協の会長を、取り柄のない私が引き受けることになりました。前会長 大島啓悟さんから引き継いだこの^{たすき}襷を単に次の人に渡すだけの仕事で良いはずもなく、私に出来る事を考えました。

それは、競わず、争わず、良くまとまること。議論を避けたり、主張をしないということではなく、むしろたくさん議論をすることで正しそうな事を見つけてやっていくということです。他にも、同じ目的を持っている仲間なら、まとまろう！ということです。

また、これは11月の東北ブロックGH2014山形大会にも注入されております。テーマ「私たちの目指す未来」は、同じ目的を持った者同士が一緒になり、汗をかく姿を想像させてくれます。

私は、自分の意見を主張することがあまり得意ではなく、リーダー性も低い人間ですが、精一杯行動したいと考えております。どうか低能な私に皆さんのお力をお貸し下さい。



MESSAGE

「顔の見える」関係から「腹が見える」関係へ ～競争(勝ち負け)からの脱却～

チームが、水平の関係のメンバーが、1人のご利用者に心を合わせて援助する場合は、メンバー同士の信頼関係が必要です。この時、顔の見える関係から始めるのが、ケア・チームを作る時の手段です。まずは一堂に会してご利用者のことを話し合う中で、あの事業所のあの人があの時間、こんな事をしているのだという事をつかみます。これが顔の見える状態です。

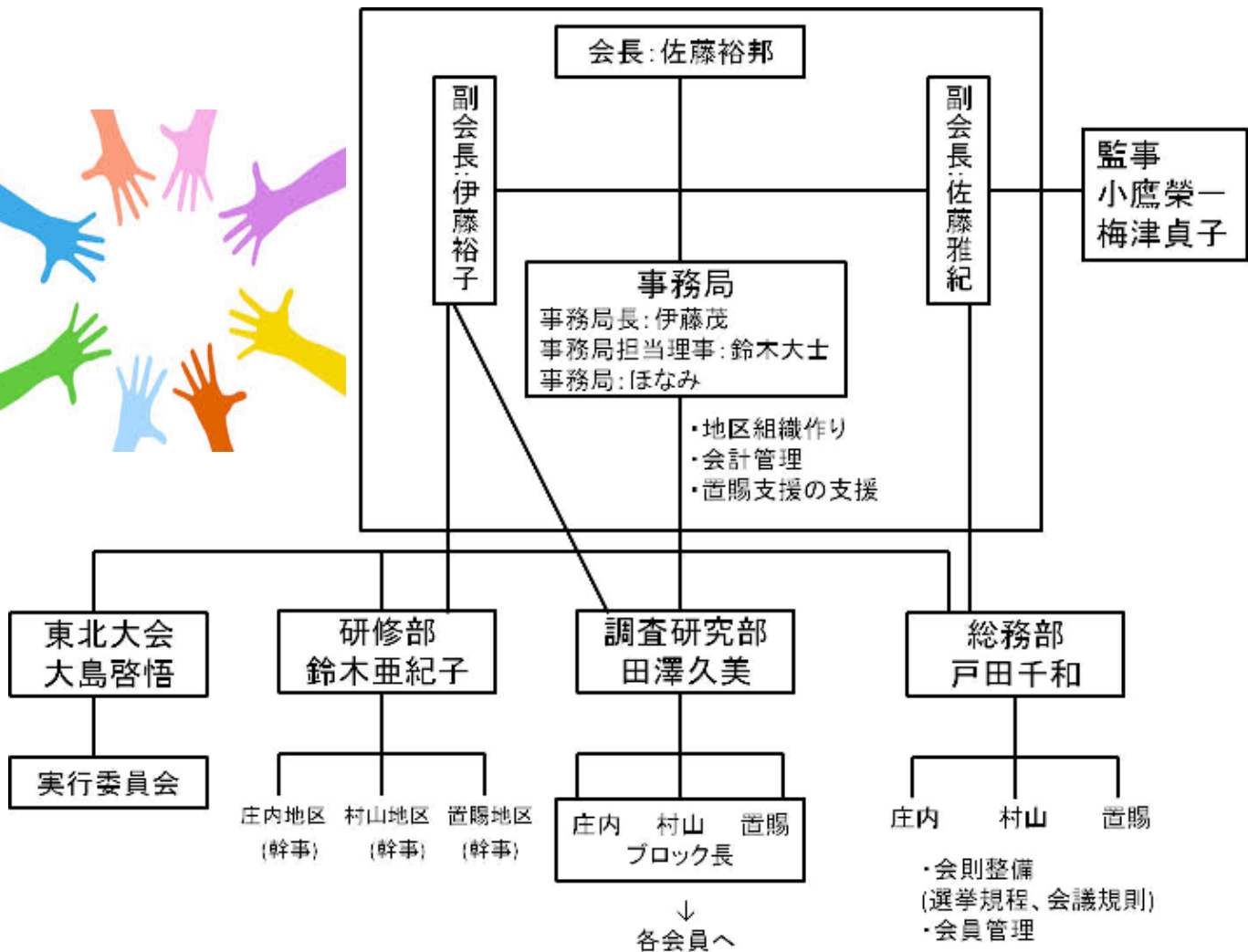
しかし、この関係はある程度の期間の目標としては良いかもしれませんが、もっと力を出し合おうとするならば、腹の見える関係へと進めなくてはならないと考えています。

介護保険の中で、一人勝ちをしようとする時代は終わりを迎えそうです。

<H26 年度事業計画>

時期	事業	会場	その他
7~9月	交換実習	各地区ブロックにて	テーマは設けない
9月頃	職員研修	置賜(伝国の杜)予定	研修担当理事による
11/13~14	東北ブロックGH2014山形大会	山形国際ホテル	「私たちの目指す未来」
11/13~14	交換実習 実践報告会	山形国際ホテル	東北ブロックGH2014山形大会の分科会で報告
11月頃	職員研修	庄内(なの花ホール)予定	研修担当理事による

＜新理事体制＞



＜しろくま 佐藤のつぶやき＞

「『会員メリット』を考える」

会員は、何かメリットがあるから会員になると考えていますが、私は最近、会員メリットについて少し違った考えを持つようになりました。会員メリットは3つあるようです。

1つめは、「帰属」のメリット。帰属していれば安心、何かあった時に相談できるというメリットです。

2つめは、「与えられる」メリット。例えば研修の機会が与えられる、情報がもらえるといった会員だからこそ、得られる利益です。会員と非会員ではサービスにとても大きな差があるため、会員になる事がお得とも言えます。

3つめが、「能動的」なメリット。これが最近感じ、考えたメリットです。つまり、自らが汗をかいて活動することで、周囲から受ける自分たちの評価を高めようとした結果生まれるメリットに授かるということです。このようなメリットもあると考えています。

さて、皆さんはどれに会員メリットの価値を置いていらっしゃいますか？

